

当事業の目的

- ① 世界的著名漫画家である手塚治虫氏の原画をもとにした陶板レリーフ作品で、パブリックアート普及の重要性を訴求
- ② パブリックアートを通じて芸術に慣れ親しむことによって、社会モラルが高まる環境を創出
- ③ パブリックアートが設置される駅やその周辺地域から日本独自の文化・風土・歴史を世界へ発信し、観光客誘致や地域の活性化に貢献

設置場所

東京臨海高速鉄道りんかい線 国際展示場駅

題名

「Osamu Tezuka, Characters on Parade～手塚治虫キャラクターズ大行進」

規模

縦 約 2.6m 横 約 8.8m

原画

日本を代表する著名漫画家 手塚治虫氏

陶板レリーフ製作

クレーレ熱海ゆがわら工房

(所在地: 静岡県熱海市泉230-1)で職人が製作中。



作家プロフィール

■漫画家／アニメーター
手塚治虫 (てづか・おさむ)
1928—1989 11月3日
大阪府豊中市に誕生。大阪
帝国大学附属医学専門部
を卒業、医師免許を取得、
のち医学博士。



日本を代表する漫画家でありアニメーション作家。1946年、18歳の時に『マアチャンの日記帳』でデビュー。一躍人気漫画家になり、生涯に亘り描いた漫画作品は700タイトルを超える。1963年には日本で最初の本格的テレビアニメシリーズ『鉄腕アトム』を制作するなど、日本の漫画界、アニメ界に大きな影響を与えてきた。没後も、アメリカで最も権威ある漫画賞のひとつ、アイズナー賞を受賞するなど、受賞歴は多数。

代表作は、『ジャングル大帝』『鉄腕アトム』『リボンの騎士』『ブラック・ジャック』『火の鳥』『アドルフに告ぐ』など。今もなお世界中の人々に読み継がれている。

作品について

今回の陶板壁画の基になったイラストは、1976年に少年漫画雑誌の付録ポスター用に描き下ろされたものです。当時の手塚治虫は、「ブラック・ジャック」「三つ目がとおる」「火の鳥」「ブッダ」「ユニコ」など月8本の連載漫画に加え、読切漫画も多数執筆し、翌年には「手塚治虫漫画全集」という古今未曾有の全300巻(最終的に400巻刊行)におよぶ出版の大事業を控えた超多忙な時期でしたが、創作のエネルギーに満ち溢れ、ペンもアイデアも尽きることなく駆け巡り、充実した時期でもありました。

この「Osamu Tezuka, Characters on Parade」は、本来92体の手塚キャラクターたちによる大行進を描いたものでしたが、今回はその中から36体のキャラクターを選び再レイアウトいたしました。

人間だけでなく動物たちやロボット、宇宙人も加わり楽しげに進むこのパレードの先が、平和で明るい未来であることを手塚治虫とともに願っています。
手塚プロダクション